

## 「あるある家」と『漫画・うんちく北海道』のコラボについて

### ■ 「あるある家」とは

日常の暮らしの中にある身近な北海道の魅力＝“北海道らしさ”を再発見して、広く知ってもらうためのキャラクター。

北海道の“あるところ”に住んでいる“ある家族”で、暮らしの中の北海道らしい“あるあるネタ”を始め、北海道の魅力を広く発信する。

道が職員からの提案を活かして政策開発を行う「プロポーザル型政策形成事業」により行った“北海道らしさ”再発見プロジェクト「あるある家」により生み出された。全国からデザインを公募し、応募 186 点の中から選ばれた。



### ■ 『漫画・うんちく北海道』とは

「教養をエンタテインメントする」をコンセプトに、「第一線で活躍する専門家が、難しい話をわかりやすく、楽しく伝えてくれる本」を目指して(株)KADOKAWAが発行している『メディファクトリー新書』の『漫画・うんちく〇〇』シリーズの一冊。漫画を通じて、定番グルメ、道産子気質、文化・歴史、ゆるキャラなど、北海道に関する様々なうんちくを発信する。

- 発売予定日 2014年5月27日(月) ●定価 840円(税別)
- 想定仕様・ページ数 新書判/並製/モノクロ 192ページ
- 漫画 椿かすが 札幌出身・在住 マンガ家のアシスタントを経て、総合学園ヒューマンアカデミー札幌校講師を務める傍ら、イラストやマンガを著作
- 監修 池田貴夫 埼玉県熊谷市出身。北海道開拓記念館学芸員。専攻は文化人類学・民俗学。主な著作「なにこれ!? 北海道学」(北海道新聞社)ほか

### ■ 「あるある家」と『漫画・うんちく北海道』のコラボ

道では、昨年8月15日から9月20日の間、道民を始め全国の皆さんから、北海道の“うんちくネタ”や“あるあるネタ”を募集。(株)KADOKAWAでは、お寄せいただいた約300件のネタの一部を再構成して『漫画・うんちく北海道』に収録。

また、本書の番外編として、「あるある家」が劇中に登場し、漫画を通じて、北海道の魅力を全国に広く発信している。